

謹賀新年



警察庁生活安全局保安課長

加藤 達也

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。旧年中は警察行政の各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜り、誌面をお借りして厚く御礼を申し上げます。また、貴連合会が創立20周年を迎えられたことに対しまして、心よりお慶び申し上げます。

さて、ぱちんこは、我が国の代表的な娯楽として親しまれておりますが、その一方で、依然として、のめり込みに起因すると思われる各種問題や、遊技機の不正改造事犯、不適切な広告宣伝・賞品提供等が後を絶たないなど、健全化を阻害する要因が残されていることも事実であります。

このような状況の中、御承知のとおり当庁では、これまでも、法令の施行を通じて、著しく射幸性の高い遊技機を規制するとともに、不正改造事犯等に対する取締りを推進してきたところです。一方、業界では、より射幸性の低い遊技機の開発や、1円ぱちんこに代表される遊技料金の低価格化等を進められているところです。

貴連合会におかれましては、一般社団法人遊技産業健全化推進機構への支援を始めとした不正防止対策、ぱちんこ依存問題相談機関「特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク」への支援等ののめり込み問題対策、児童車内放置事案の防止対策等を進められ、ぱちんこ営業の健全化に努力されているところであり、私どもとしても大変心強く感じしております。

また、昨年の東日本大震災に際し、パチンコ・パチスロ産業21世紀会における被災地支援策の取りまとめに御尽力されるなど、ぱちんこ営業に対する社会的評価の向上に努められました。

貴連合会が関係各団体との連携・協調の下、今後とも、手軽に安く安心して遊技を楽しむことができる環境の整備を始めとする、ぱちんこが健全な大衆娯楽になるための取組を、より一層推進されることを期待しております。

私どもといたしましても、違法行為者に対する取締りを始めとする各種取組を推進するなど、ぱちんこが健全な娯楽となるための施策をより一層推進していきたいと考えております。

最後になりましたが、ぱちんこ業界が、広く国民に評価される業態を確立されること、また、貴連合会の益々の御発展と皆様方の御健勝、御多幸をお祈り申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。